

第288回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成24年5月28日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟放送網本社会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
笠井 明	委員	吉原 浩	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	前川 磐
専務取締役（報道・制作・国際担当）	奥野富士郎
専務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	駒形 正明
報道制作局長兼報道部長	稲田 裕之
編成部長	中川 保彦
制作部長・合評番組プロデューサー	小木 裕介
事務局	海津 智洋 紫竹 聡子

## 4 議 題

### 1) 番組合評

#### 「分水おいらん道中・春絵巻」

[放送 : 2012年4月29日(日) 16:55~17:25]

(説明: 番組プロデューサー 小木 裕介)

### 2) 会社報告

① 4月の視聴者の意見。 (報告: 番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例の報告等。(報告: 番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要 (委員の意見)

会社側から、この番組は昨年1月に夕方ワイド新潟一番の「ラーメンの旅」コーナーで分水地区を取材した折に分水おいらん道中のおいらん募集を見つけて栗林アナウンサーが応募したのがきっかけとなり、その後栗林アナウンサーが採用されるという幸運にも恵まれて分水おいらん道中を取材することになったもので、大河津分水の大工事の歴史や周辺観光情報も盛り込みながら分水おいらん道中が第70回を迎えることや分水地区に住む人たちが親子代々手作りで脈々とこのイベントを守り続けてきたことを県民に広く紹介しようと制作した番組であることなどを報告した。

● 分水のおいらん道中は知っていたが、詳しい映像で見るのは初めてで、おいらん役が4人いるのも番組で初めて知った。

- 全国でも珍しいイベントだと思う。県内での貴重なイベントとしてこのおいらん道中を大事にして欲しい。燕市だけでなく新潟県全体の観光資源としてもっと広く活用すべきだと思った。
- おいらんの高下駄が三枚歯であることや高下駄を素足で履いていることなど、見ていて改めてわかったことであり興味深かった。おいらんの髪飾りや衣装などについてもっと詳しく紹介して欲しかった。
- 実際このイベントにどれくらいの人数が動員されているのか。観光客はどれだけ来ているのかなどイベント全体の規模が画面からはわかりにくかった。
- おいらん道中について分水地区や燕市などの周辺地図や観光情報をもっと豊富に出ていれば来年行ってみようと思った人たちには参考になったと思った。
- 4人のおいらんの一人に栗林アナウンサーが折角選ばれたのに、彼女からの苦労話やイベント参加の逸話などリポートがもっとあってもよかった。
- 番組からは「分水」の地名の由来についてや、大河津分水工事は延べ1千万人に及ぶ人が関わった東洋一の大工事だったことなど様々なことを学ぶことが出来た。
- おいらん道中を始めるきっかけが、旦那衆が芸者衆においらんの格好をして歩かせたら面白かろうという話から始まったというのも興味深かった。東洋一の大工事と軽いきっかけで始まったおいらん道中の組み合わせが対照的でありたいへん面白かった。
- 4人のおいらんたちが当日だけでなく事前にテレビやラジオを通じてPRしたり、一日交通課長を務めたり、首都圏での観

光PRなどで精力的に活動しイベントを盛り上げるとともに、イベントを通じて町の活性化に努めていたのは素晴らしいと思った。

●地元の親子二代でおいらんを務めた人たちの地元への思いも伝わってきた。歴代のおいらん役の人たちもお手伝いなどでイベントをバックアップしていたり大勢の人がこのイベントに愛着を持って大事にしている様子が伝わってきて感動した。

●地元の親子二代のおいらん役だったり、弟が提灯持ちだったり、おいらんのイメージがずいぶん明るい感じになったと思った。こういうお祭りがあってもいいなと思った。

●変身コーナーや歴代おいらん集合など、華やかな祭りの雰囲気も伝わってきた。とかくニュースだけを見ているとおいらん道中だけしかイメージできなかったが、番組を見て手古舞、提灯持ち、みどり、ほうかん、新造、舞妓などの参加によりかなり手作り感が見られて、地元にとっての大切な祭りだということが伝わってきた。町づくりとは何かについても考えさせてくれた番組だったと思う。

●桜並木から本町通りへの位置関係が分からなかったのも、どれくらいの距離を練り歩く祭りなのかが分からなかった。

●おいらんの歩きに欠かせないほうかん役の人たちについて、彼女たちも選ばれたのだろうか、どういう人たちなのだろうかなど、もっと知りたかった。

●昔のおいらん道中の写真や親子二代のおいらん写真など丁寧な取材で地元の人たちが大切に楽しみをしていることが伝わってきて良かった。

●全体的に春らしく華やかな内容であり、70回というおいらん

道中の歴史を辿ったり、親子や家族ぐるみで参加している人たちを紹介していて、祭りに対する地元の人たちの思いが伝わってきた。なかでも「分水に春が来たって感じですねー。」というコメントが彼らの気持ちを表していると思った。

●分水工事の長い歴史とともに、おいらん道中の歴史があり、大河津分水工事の歴史そのものについて番組で更に掘り下げて紹介してくれたら尚更充実した内容になったと思った。

## 6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

4月…… 201件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成24年4月23日)から昨日(平成24年5月27日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第287回審議会では「その手に春を 震災1年・新潟からつなぐ未来」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

## 8 今回の第288回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 4月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 4月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（4/23, 5/3, 13号）
- ・ BPO（No.108、109、110）

以上